

知っ得



——からだの知識

現在、2500万人 取扱には、何をあげま
 の方が入れ歯(義歯) すか? 「インプラント」
 を利用していると言わ といった新しい技術も
 れています。一般的に、登場している一方で、
 50歳くらいから入れ歯 「外科手術に対する恐怖
 を利用し始める方が多 心」「高額」「失敗した
 いようです。しかし、 時のリスク」などから、
 入れ歯を利用者されて 入れ歯を見直す動きが
 いる多くの方が、「痛い」 出てきています。
 「噛めない」「外れやす 最近では、入れ歯特
 い」といった悩みを抱 有の「痛い」「噛めない」
 えていらっしやいます。「外れやすい」といった
 歯を失ったときの選 悩みを解消する、(株)バ

第22回 入れ歯の現状

イテック・グローバル・ジャパン (http://www.biteglobal.com) が提供している「コンフォート」という技術が注目されています。このコンフォートは、入れ歯のハグキに当たる部分を柔らかい生体用シリコーンという素材で覆っているため、グッと噛みしめた時の力を分散させ、痛みを和らげたり、入れ歯の吸着力を高めるといふ効果が期待されています。私の医院でも年間数百人の入れ歯患者が来院されますが、このコンフォートをされた方は一様にその噛み心地、吸着力に満足されていらっしやいます。このコンフォートは保険の効かない、いわゆる自由診療になるため、保険の入れ歯に比べ費用は高くなります。しかし、毎日なんでも食べたいものを食べて元気な毎日を送ること、人生をより充実したものにすることができると思えば、入れ歯にある程度費用をかけることは決して贅沢なことではないと思えます。自由診療になったとしても、インプラントよりも安価で安全に、短期間でできるということは、入れ歯を見直す重要なポイントでしょう。

入れ歯を今まで以上に「よく噛める」「外れない」ものに機能アップさせるコンフォート。では、本当にあなたにあった「コンフォート」された入れ歯を作るにはどうしたらよいのでしょうか。自由診療、コンフォートされた入れ歯を作るときに大切な事について、次号でお話しいたします。



池田 昭先生

デンタルオフィス日本橋 顧問Dr.
 【取材協力】
 (株)バイテック・グローバル・ジャパン
 【お問い合わせ】
 フリーダイヤル0120-413-418